



にとな便り

第40号

令和5年1月

独立行政法人 国立病院機構 千葉東病院 〒260-8712 千葉県千葉市中央区仁戸名町673 Tel. 043-261-5171

新年度のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様には穏やかでよいお年を迎えられたことと思います。新年を迎えまして年頭のご挨拶申し上げます。

去年は、戦争、燃料費高騰、物価高などいいニュースがあまりありませんでしたが、最後にサッカーワールドカップで日本が活躍してくれて、明るい気持ちにしてもらえました。まさに「ブラボー」という感じでした。同時にサッカーは個人の能力もさることながらチーム全体で戦略を共有し、メンバー間でしっかり連携し、一丸となってゴール(目標)を目指す、という事をあらためて理解しました。これは病院にもあてはまることです。安心安全かつ質の高い医療を提供し、患者さんに満足していただけるようにすることが病院としての目標であることを改めて全職員で認識し、今年も全職員が一丸となって目標に向かって頑張っていきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症は今年で蔓延しはじめて3年目で4年目に入り、年末からは第8波が始まってしまいました。収束という言葉を使えるようになるまでにはまだ時間がかかりそうです。病院としても、コロナの存在を前提に患者さんの満足度、安心感を増やせるような運営を考えねばならない時期に入っていると思っております。去年は院内でクラスターも発生してしまい、入院制限などでご迷惑をかけてしまいました。院内でクラスターを発生させないためには面会制限も必要ですが、厳しすぎる面会制限も入院期間が長い患者さんが多い当院としては患者さんと家族の皆様

への影響が大きくなってしまいます。現在第8波ですが、今後も第9波、第10波と繰り返すと思います。今までの経験を活かして、流行の程度によって面会制限の強化



院長 西村 元伸

緩和の調節をテンポよく行う、万一院内にコロナが発生しても広げない、などコロナとうまく付き合えるようにすることも考えていきます。

さて、最初に院内の連携について書きましたが、医療機関、介護機関の皆様との連携も、同様に大切です。新型コロナウイルス感染症の蔓延後、医療連携カンファレンスも院内開催からオンラインでの開催に切り替えました。去年は、医局と看護部あわせて計5回開催し、多くの皆様に参加していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。オンラインでの開催には慣れてきましたが、対面ではないので十分なコミュニケーションが取りづらいように感じております。今年は私どもの方から挨拶に伺い、直接ご意見、ご希望をうかがう機会を増やしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりましたが皆様のご健勝とご多幸をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。今年も患者の皆様、医療・介護機関の皆様のお役に立てる病院目指して職員一同頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

目次

新年度のご挨拶	表紙	季節の健康レシピ	6
退職者ご挨拶	3	いつまでも若さを保つ体の管理	7
病院活動紹介「心理療法士」	4	災害訓練	7
重症心身障害病棟 「2022年度オンライン配信行事について」	5	外来診療担当医表	8

■退任者ご挨拶

リウマチ・アレルギーセンター部長/治験管理室長 松村 竜太郎

2022年4月で私、松村竜太郎は18年間の当院勤務を終えて定年退職を迎えました。

2004年3月、この病院が国立療養所から国立病院機構千葉東病院に新しく、大きくなった直後の4月に私は赴任しました。国立の腎疾患の準ナショナルセンターをめざし、膠原病腎病変を担当するアレルギー科（後にリウマチ・アレルギー科と改称）に所属することになりました。

私は2つのやりたいことがありました。その一つが、リウマチ膠原病疾患をきちんと診療できる内科を作ることです。はじめは月間患者数100名ほど、入院2-3人からのスタートでしたが、中澤先生、大矢先生、二見先生、若林先生、診療看護師の石島先生という仲間恵まれ、外来患者数2000名以上、入院患者数も30名を超す、千葉県内でも有数のリウマチ膠原病内科になったと考えます。

もう一つ、やりたかったことは、リウマチ膠原病患者さんに最新のお薬を提供することです。当時、海外で良い薬が開発されても、国内で患者さんに届けられるのは5年以上遅れてしまうドラッグラグが起きていました。そこで、積極的にリウマチ膠原病の治験を施行して、新しい良い薬の日本への導入を目指しました。治験管理室のメンバーの献身的努力もあり、現在リウマチ膠原病の薬剤の日本導入（認可）はアメリカとほとんど同時となりました。

これらを中澤先生、大矢先生を始め仲間の方々が、さらにすすめてくださると信じております。さて、私は今後もリウマチ膠原病医でありたいと考えています。特にリウマチ膠原病患者さんの老化に伴う病態の変化を注視し、ゆっくりと患者さんに寄り添った診療をしたいと考えています。18年間、たいへんありがとうございました。

今後もお世話になる事もあると存じます。そのときもどうぞよろしく願いいたします。

診療部長 松村 千恵子

私は、1987年4月、1年間の予定で千葉東病院に赴任しました。当時、千葉東病院では、慢性腎疾患児の治療と教育が可能な病棟として、2個病棟（80床）が開棟され、元副院長の倉山英昭先生、宇田川淳子先生のもと、腎疾患の早期発見・早期治療に取り組んでいました。私は、小児腎臓病の魅力に惹かれ、35年間、在職することとなりました。

現在は、15名前後の入院患者数となっていますが、IgA腎症の積極的ステロイド治療、ネフローゼに新しい免疫抑制剤の登場により、入院期間が大幅に短縮し、小児腎疾患の患者様のQOLは著しく向上しました。血液浄化センター開設前は、血漿交換は技術者を呼んで病室で施行し、血液透析は週3回千葉社会保険病院へ通院するという困難な状況でした。2004年に血液浄化センターが開設され、腎移植が行われるようになったのは、画期的な出来事でした。

腎炎・ネフローゼと共に、私がライフワークとして取り組んだのは、小児腎不全の主要な原因疾患である先天性腎尿路異常（CAKUT）の早期発見です。千葉市3歳児検尿では、1991年より、白血球・亜硝酸塩検尿、腎エコーが開始され、2021/3月で30年となり、多数のCAKUTが発見されました。退職ぎりぎり、30年の成績を論文投稿することができました。

重症心身障害児（者）病棟120人は、2013年に新棟2個病棟となり、小児科医師全員で診療にあたりました。はじめは1人もいなかった人工呼吸器の患者様も増え、医療の状況も大きく変わりました。多職種連携が鍵となる領域であり、チーム医療の大切さを実感しました。

インфекションコントロールチーム（ICT）の活動にも長年参加しました。手抜きのできない待たなしの分野ですが、チームの皆さんと協力して、充実した日々を過ごさせて頂きました。

35年間本当にお世話になりました。今後も、医師として少しでもお役に立てるように、精進する所存です。当院にも小児科外来でお世話になりますので、引き続きよろしくお願い致します。

病院活動紹介 心理療法士

当院の心理療法士の活動について、ご紹介させていただきます。

スタッフは常勤2名、非常勤1名となっております。

主な活動として、神経難病の患者さんやそのご家族の心理面接、物忘れ外来での高次脳機能検査、難病支援センターでの事業を行っています。難病以外の患者さんについて、何か心配なことや気になることがあった場合にも、対応可能な範囲でご相談に応じております。

心理面接では、ベッドサイドや面接室、外来にて、患者さんやご家族から現在の心境や心配なことなどを聴いていきます。その時の心理的、身体的状態に合わせて、疾患に関するパンフレットなどを一緒に読みながら疾患の理解を深めたり、今後どのように過ごしていきたいかを一緒に考えていきます。その際、必要と思われる情報（胃ろうや気管切開、意思伝達装置など）についてお伝えしたりしています。また、気分転換にお散歩やおセロなどをして過ごすこともあります。

その他、主治医からの病状説明、在宅調整会議、病棟カンファレンスに参加し、多職種との連携を図りながら、患者さんやご家族のサポートを行っています。

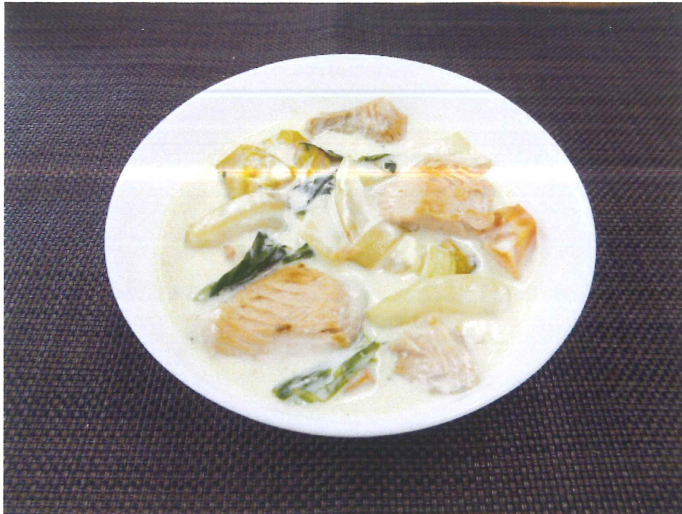
物忘れ外来では、年間約500件の高次脳機能検査を行っています。患者さんやそのご家族の不安感や困り感を聴いて、日常生活のなかで気を付けた方が良いことなどについてお伝えすることもあります。

難病支援センターの事業では、『えー・える・えす・サロン』といった筋萎縮性側索硬化症の患者さん、そのご家族同士の交流の場を院内で開催しております（コロナ禍のため現在は不定期となっております）。また、『コミュニケーション機器導入サポート事業』といった病気によって意思表示が困難になる患者さんへ、視線入力装置を使ったコミュニケーション機器などの導入支援と機器の貸し出しを行っています。入院での機器の練習もサポートしています。

心理的な問題は、身体的・社会的問題などと重なり合っています。そのため、多職種連携をしながら、患者さん、そのご家族がその人らしく生きていくことができるように、お手伝いさせていただけたらと思います。



季節の健康レシピ 鮭と野菜のゴロゴロシチュー



寒い冬におすすめの
メニューです。



1人当たりの栄養価

エネルギー	396kcal
たんぱく質	21.8g
食塩相当量	1.3g

～材料 (2人分)～

- ・ 鮭……………2切 (140g)
- ・ 油……………小さじ1/2
- ・ かぼちゃ……100g
- ・ 玉ねぎ………1/2個 (100g)
- ・ 人参……………1/2本 (60g)
- ・ ほうれん草…2株 (60g)
- ・ 油……………小さじ1/2
- (ホワイトソース)
- ・ バター……………大さじ1
- ・ 小麦粉……………大さじ1と1/2
- ・ 牛乳……………400mL
- ・ コンソメ………小さじ1
- ・ こしょう………少々

～作り方～

1. 玉ねぎは1cmのくし形、ほうれん草は5cm長さに切る。
2. かぼちゃは3cm角、人参は乱切りにし、ラップをふんわりかけ、レンジ500wで3分加熱する。竹串を刺して固いようであれば柔らかくなるまで更に加熱する。
3. 鮭は4cm幅に切る。
4. ホワイトソースを作る。
 - ① 鍋にバターを溶かして小麦粉をよく炒める。
 - ② ①に少しずつ牛乳を加え、ダマにならないように混ぜる。
 - ③ トロみがついたらコンソメとこしょうで調味する。
5. 鮭は油を敷いたフライパンで火が通るまで両面焼く。
6. 別の鍋に油を敷き、玉ねぎがしんなりするまで炒める。
7. 6.の玉ねぎに、ほうれん草、かぼちゃ、人参を入れ、軽く炒める。
8. 7.にホワイトソースの1/3を入れ、なじませてから全量入れ、周りがフツフツするまで煮る。
9. 最後に焼いた鮭を加え、軽く混ぜてから盛り付ける。

★おすすめポイント★

- ・ 電子レンジの使用で、茹で作業や蒸し作業の手間が省けます。
- ・ ルーを使用しないことで、余分な塩分をカットできるため、食塩制限をしている方におすすめです。
- ・ 彩のバランスに考慮し、見た目でも楽しめます。

★栄養情報★

- ・ 鮭には骨を丈夫にするビタミンDや、血圧と中性脂肪を抑制する魚油が多く含まれています。
- ・ かぼちゃに含まれるビタミンには美容効果があります(ビタミンC、E)。
- ・ ほうれん草は、鉄分を豊富に含むため、貧血予防になります。

～千葉東病院 栄養管理室～

重症心身障害病棟「2022年度オンライン配信行事について」

療育指導室 保育士 竹田 湧司

当院重症心身障害病棟では、長期入所利用者 118 名が入所されています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からコンサートなど従来は外部パフォーマーを招致していた行事も現在はオンライン配信に切り替えて行っています。方法としては、31 及び 32 病棟のデイルームにスクリーンを立ててライブ映像を映し出し、Microsoft Teams や Youtube を使って、外部パフォーマーと重症心身障害病棟がお互いに見える状態でのオンライン配信を行っています。1 公演の利用者の参加人数としては、他者との間隔を空けるため 10 名程度で実施しています。オンライン配信行事「パノラマとラボラトリー」と「心魂プロジェクト」について紹介します。

「パノラマとラボラトリー」はドラム、キーボード、ボーカルで構成されたジャズポップバンド(エマーゼンザ・ジャパン2022優勝)です。音楽鑑賞と共に手拍子でのリズム遊びやビニール袋、ホースなど身近にあるものを使って自然の音(波、風など)を表現する体験を行いました。参加された利用者さんはリズムに合わせて楽しそうに手拍子をされ、会場は温かい雰囲気になっていました。



「心魂プロジェクト」は劇団四季・宝塚歌団出身俳優を中心とした団体で、病院や特別支援学校、施設などへミュージカルなどのパフォーマンスを提供されています。公演中に「盛り上がっています!」「楽器を鳴らして踊っています!」など会場の様子を職員がコメントで伝えると、コメントを見たパフォーマーがスクリーンを通して返答してくれます。療育指導室の職員も一緒に「ソーラン節」の歌や踊りをしました。利用者さんも一緒に体を動かして、会場は盛り上がっていました。



これからも利用者さんのために楽しい思い出づくりができるように活動を実施していきます。


令和4年度千葉東病院地域連携の会を終えて

入退院支援センター 萩原 久子

千葉東病院地域連携の会は令和元年度より開催しています。コロナ禍のため 3 回目のオンライン開催となりました。10月20日に実施し、29施設より37名の参加がありました。

今年度はテーマを認知症としました。「認知症について理解を深めよう!」と「糖尿病と認知症～こんな時どうする?生活支援について～」の2題を、認知症看護認定看護師と糖尿病看護認定看護師より情報提供講演を行いました。2025年には団塊の世代が75歳となり、高齢者の5人に1人が認知症という推計もでています。これからの看護や介護では認知症の方々の対応が益々増えて行くことが予想されます。事前アンケートでも38名中35名の方が、認知症の利用者の事で困ったり悩んだりしたことがあると答え、現場での対応で苦慮されていることが伺えました。今回の情報提供講演後の感想からは、「認知症の対応の工夫などわかりやすかった」「高血糖や低血糖のリスクについてわかりやすい説明だった」「明日からのケアマネジメントの場面で使える内容だった」と好評をいただきました。

来年こそは、対面での開催ができることを切に願うばかりですが、オンラインでの開催のバージョンアップもできるように企画運営を考えて行きたいと思っています。



Teams による
オンライン開催

令和4年度

参加費無料

千葉東病院 地域連携の会

令和4年10月20日(木) 18:30~19:30

*18:00~Teamsの接続確認、18:25~留意事項説明

18:30~18:35 【オープニング】

18:35~19:15 【第1部】情報提供講演(40分)

「認知症について理解を深めよう!」
認知症看護認定看護師 榎本 順一

「糖尿病と認知症～こんな時どうする?生活支援について～」
糖尿病看護認定看護師 名和 晃司

19:15~19:30 【第2部】質問・意見交換など(15分)

第1部の講演への質問や意見交換など

19:30 【クロージング】

【お願い】

- ・参加希望の方は添付のFAX送付状にメールアドレスをご記入下さい。10月17日まで招待メールを送信いたします。メールが届かない場合はお手数ですがご連絡願います。
- ・会の当日までにMicrosoft Teamsのアプリをダウンロードして下さい。


お申し込み FAX送付状(返信用)をご記入し、下記宛にFAXをお願いします

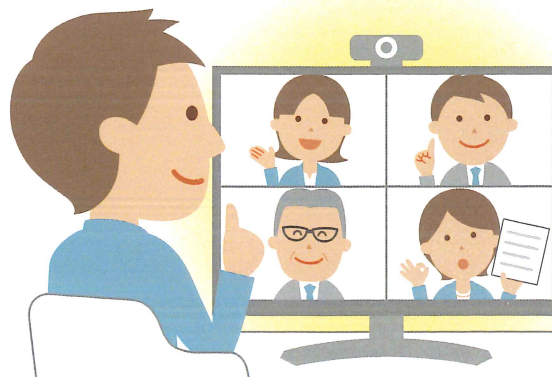
申込締切日 令和4年10月7日(金)

千葉東病院 地域医療連携室・入退院支援センター 萩原 久子

TEL 043-264-3351(直通) ・ FAX 043-264-3356(直通)

Mail hagiwara.hisako.en@mail.hosp.go.jp





いつまでも若さを保つ体の管理 ～松ヶ丘公民館クラブ連絡会・松ヶ丘公民館～

国立病院機構千葉東病院 糖尿病・内分泌内科 西村 元伸

11月19日(土)に松ヶ丘公民館クラブ連絡会、松ヶ丘公民館の共催で、住民の皆様対象の講演会をする機会をいただきました。

「いつまでも若さを保つ体の管理」というタイトルで、健康寿命を延ばすために必要な生活習慣、特に身体活動、栄養の維持、社会活動への参加の重要性を中心に講演し、質疑応答を含め約1時間、参加して下さった53人の皆様と楽しく過ごさせていただきました。

世話人、公民館の皆様があらかじめしっかり準備をして下さったお陰で盛会のうちに終了でき、感謝しております。



災害訓練

事務部 庶務班長 齋藤 隆

平日日中に震度6の地震が発生した想定で11月28日(月)に災害訓練を実施しました。

昨年度、一昨年度と新型コロナウイルスの影響で実動訓練が見送りとなったため、3年ぶりの実動訓練となります。

みなさんは「アクションカード」というものをご存じでしょうか?アクションカードとは、災害発生時に効率よく初動対応ができるように個々のスタッフが具体的に何を行うのか示されたものになります。今回の訓練では、このアクションカードに従って各部門が行動し、被害状況の把握、災害対策本部への報告を主な内容として行いました。訓練後には各部門で振り返りを行い、その結果をアクションカードの見直しに繋げるなど、今後の災害対策に生かせる訓練となりました。

災害は、時間と場所を選ばずにやってきます。有事に際に、スタッフ一人ひとりがしっかりと行動できるよう今後とも災害対策に取り組んでいきたいと思っております。



外来診療担当医表

令和5年1月1日

診療科目		月	火	水	木	金
糖尿病・内分泌内科		西村 元伸	西村 元伸 井出 真太郎※1	関 直人	西村 元伸 花岡 美貴	
腎臓内科		今澤 俊之 田邊 淳※2	首村 守俊 諸岡 瑞穂※2	今澤 俊之 川口 武彦※2・3		川口 武彦
リウマチ・アレルギー科		粕谷 忠道 前澤 裕子 若林 豊	中澤 卓也 二見 秀一	松村 竜太郎 若林 豊	大矢 佳寛 二見 秀一	粕谷 忠道 中澤 卓也 大矢 佳寛 (第1、3、5週) 二見 秀一 (第2、4週)
消化器内科※1			岩崎 巨征			
循環器内科	午前			上枝 弘雄		
	午後	北原 秀喜※3				北川真理※3
脳神経内科 (新患は完全予約制)		新井 公人 齋藤 裕美子※1	新井 公人 伊藤 喜美子 國分 さゆり		本田 和弘 武田 貴裕	磯瀬 沙希里 石川 愛
			特殊外来(治験)	特殊外来(治験)	特殊外来(治験)	
呼吸器内科※3						山岸 文雄※2 (第1、3週)
小児科	腎	松村 千恵子 金本 勝義 鵜野 裕一 小林 雅代 升田 真依	※4	※4	金本 勝義 鵜野 裕一 小林 雅代 升田 真依	※4
	一般※1	※4	担当医	担当医	※4	担当医
外科 移植外科	初診		坏 尚武	(手術日) ※4	坏 尚武	坏 尚武
	再診	丸山 通広	坏 尚武			
整形外科 リハビリテーション科		※1 田原 正道 橋本 瑛子	(手術日)		勝見 明 萩原 茂生	田原 正道 ※5
眼科 ※1、※3			清水 規宏		柿栖 将人	
形成外科※1		千明 信一	千明 信一 担当医	千明 信一	千明 信一	
泌尿器科※3		今村 有佑			竹内 信善	
歯科	一般歯科 ※5	大塚 義顕 渋谷 泰子	大塚 義顕 渋谷 泰子	大塚 義顕 渋谷 泰子		
	摂食嚥下 リハビリ				大塚 義顕※5	大塚 義顕※3 渋谷 泰子※3

診療受付時間(初診・予約外)・・・月曜日～金曜日 午前8:30～午前11:00

予約変更専用電話番号 043-264-3593 受付時間 午前9:00～午後4:00

※1 午前だけの診療となります。

※2 午後だけの診療となります。

※3 新規の患者様については受け付けておりません。再診患者様については予約制となります。

※4 受診を希望される場合は、お電話にてご相談ください。

お問い合わせは 月～金曜日(平日)午前8:30～午後4:00の間をお願いします。

※5 新規の患者様については紹介制となります。再診患者様については予約制となります。